

PRESS RELEASE

2015年7月31日
株式会社三菱総合研究所

2015年4-6月期 GDP 1次速報予測

株式会社三菱総合研究所（代表取締役社長 大森京太 東京都千代田区永田町二丁目10番3号）は、内閣府より8月17日（月）に公表予定の2015年4-6月期のGDP速報（1次QE）について予測を行った。

2015年4-6月期	実質GDP	季節調整済前期比	▲0.7%	（年率 ▲2.9%）
	名目GDP	季節調整済前期比	+0.1%	（年率 +0.4%）

2015年4-6月期の実質GDPは、季節調整済前期比▲0.7%（年率▲2.9%）と予測する。14年半ば以降、景気は緩やかに持ち直してきたが、消費の不振や外需の落ち込みなどを背景に、3四半期ぶりにマイナス成長に転じる見込み。

消費は、4四半期ぶりの減少を予想。所得・雇用環境や消費者マインドは堅調だが、6月の天候不順や軽自動車をはじめとする耐久財の販売不振が、消費の足を引っ張る格好となった。住宅投資は、住宅着工の持ち直しを背景に、2四半期連続の増加を見込む。設備投資は、企業収益の回復などから高水準は維持しているが、外需の悪化などを受け小幅な減少となる見通し。公的固定資本形成は2四半期ぶりの増加を予想する。

輸出は、中国経済の減速などを背景にアジア向けを中心に弱い動きがみられ、4四半期ぶりの大幅な減少を見込む。輸入も、内需の不振を受けて4四半期ぶりの減少を予想する。

表 2015年4-6月期 GDP速報 予測結果

単位：断りがない限り 季調済前期比（%）		2014年		2015年	
		7-9月期 実績	10-12月期 実績	1-3月期 実績	4-6月期 予測
実質GDP		▲0.5	0.3	1.0	▲0.7
	季調済前期比年率	(▲2.0)	(1.2)	(3.9)	(▲2.9)
民間最終消費		0.4	0.4	0.4	▲0.2
民間住宅投資		▲6.4	▲0.6	1.7	1.6
民間企業設備投資		0.1	0.3	2.7	▲0.3
民間在庫	寄与度	▲0.7	▲0.2	0.6	▲0.1
政府最終消費		0.2	0.3	0.1	0.4
公的固定資本形成		1.6	0.1	▲1.5	3.1
財・サービス輸出		1.6	3.2	2.4	▲4.9
財・サービス輸入		1.1	1.4	2.9	▲1.0
内需	寄与度	▲0.5	0.0	1.1	▲0.0
民需	寄与度	▲0.7	0.0	1.2	▲0.2
公需	寄与度	0.1	0.0	▲0.1	0.2
外需	寄与度	0.1	0.3	▲0.2	▲0.7
名目GDP		▲0.7	0.8	2.3	0.1
	季調済前期比年率	(▲2.7)	(3.1)	(9.4)	(0.4)
GDPデフレーター	前年同期比	2.1	2.4	3.4	2.3
国内需要デフレーター	前年同期比	2.3	2.1	1.4	0.3

注：既発表の実績値についても季節調整等に伴う遡及改定が行われる。
表中の実績値は、2015年1-3月期2次QEに基づく。シャドー部分が今回の予測値。
資料：実績は内閣府「国民経済計算」、予測は三菱総合研究所。

＜本件に関するお問合せ先＞

株式会社 三菱総合研究所 〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目10番3号
政策・経済研究センター 森重彰浩 坂本貴志 電話：03-6705-6087 FAX：03-5157-2161
E-mail：morisige@mri.co.jp takashi_sakamoto@mri.co.jp
広報部 峰尾 電話：03-6705-6000 FAX：03-5157-2169 E-mail：media@mri.co.jp
尚、本資料は、内閣府記者クラブに配布致します。